



# 校長室だより

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和7年2月20日

第37号

## 経験は何よりの力、財産です

### ★「自分もやってみたい」の気持ちを大切にしたいですね

去る17日(月)の業間に「だれでも参加コンサート⑤」が行われました。すでにHPでも紹介しています。ご覧いただけましたか？

このコンサートは、音楽に堪能な寺崎先生が、自身の弦楽器の演奏発表からスタートし(「校長室だより」第23号)、徐々に参加希望者を募って企画し、回を重ねてきています。音楽好きな私は毎回聴きに行き楽しんでます。自由参加のミニコンサートながら、その都度関連するスライド資料を用意し、進行役を務めて素敵なステージに仕立ててくださる寺崎先生は、今や村椿小学校の名音楽プロデューサーです。

今回は1年生と4年生から1名ずつ出場し、順にピアノを発表してくれました。1年生はまだまだ習いたてなのでしょう、すらすらと弾きこなすというわけにはいきませんが、練習したとおりに一生懸命演奏している様子が伝わりました。寺崎先生のキーボード伴奏にフォローしてもらいながら、校歌と「きらきら星」をしっかりと最後まで弾き切ることができました。

一方の4年生は、アップテンポのJ-POP曲をすべて暗譜して一気に演奏していました。子供の集中力はすごいものだなと感心させられます。二人の演奏が終わると客席から大きな拍手が送られました。

今回のコンサートのサブタイトルは「～わたしもひきたくなってきた～」でした。なるほど、「自分もやってみたい」の気持ちを大切に、思い切って挑戦できる機会、安心して人前で自分を表現できる場を学校生活の中にこれからもっともっと作っていききたいものだなと思います。

### ★「校長先生は恥ずかしくないんですか？」の一言から・・・

さて、校長室には業間や昼休みに時々子供たちがやってきて、折り紙やお絵かき、おしゃべりなどを思い思いに楽しんでいきます。

昨日はぬり絵を楽しんでいる中で、ある子がおもむろに「校長先生はマイクでいろいろ話するとき、恥ずかしくないんですか？」と聞いてきました。ということは、この質問をしてきた子は人前で話するとき、恥ずかしかったり緊張したりすることが多々あるのでしょうか。もしかしたら来週の「6年生を送る会」の練習で何か思うことがあったのでしょうか。

この子たちと同じく村椿小学校出身の私。子供の頃から意見発表やら童話発表(そういう大会がかつてありました・・・)やら演劇やら、あれこれと場数を踏み、教師になってからは当然、毎日児童生徒の前で話す、話す、話す、……。もう本当に、場慣れだけはしてきたのだなあと思い返しました。

「まあ私はあなたと比べると、これまで長く長く生きてきたからね。いろいろ経験して、たいていのことは恥ずかしくなくなったかな？」と答えると、その子は不思議そうな顔で「ふう～ん」と答えていました。大丈夫。あなたもこれからたくさんの経験をして、きっと立派に成長していけますよ！

### ★経験は教を重ねてこそ、その意味が分かる

ドイツの詩人ゲーテは「経験はそれだけでは経験にならない。他のもう一つの経験によって乗り越えられたとき、初めて一つの経験になる」と言っています。初めての経験は無我夢中でその意味が分からないけれども、似たような経験をもう一つ重ねることで「ああ、そういうことだったのか」と意味が分かる、ということなのでしょう。ピアノ演奏もスピーチ発表も、経験の回数を重ねることで「あのときの私はこういうことで緊張していたのだな」とかつての自分を客観視できます。たとえ大失敗した経験も、考え方次第で自分の成長に生かすことができ、「今度はこのようにしよう」と見通しをもって段取りを立てることができます。また、「この経験が自分にとってどのようなプラスになるか」を意識し、より前向きな気持ちで取り組めるようになるものです。まさに経験は何よりの力、自分の財産です。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ( )



## 2月の短歌「食べ物の歌」を紹介します

- ほくほくと家のお米はコシヒカリ家族の笑顔食卓囲む (6年 I・Rさん)
- うちよりもやきにくやさんのとりももはなぜかおいしい三倍食べれる (3年 H・Mさん)
- 四時間目おなかすいたよはらぺこだランチルームは笑顔がいっぱい (6年 Y・Tさん)
- りんちゃんちのにんじんおいしいもうとがムシャムシャとなまでたべたよ (1年 N・Kさん)
- 息子作手作りギョーザ見た目よし「当たりがあるよ」え？わさび入り？ (職 M・Mさん)
- のりごはんしょうゆをつけてくるりまくのこりの一まい大事に食べる (3年 T・Aさん)

20名分の短歌を村椿公民館にも掲示していただいています。お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

<地域の方からの感想> ※1月の校長杯短歌大会の短歌への感想を、公民館の「感想カード」等から紹介します。

- ・6年Mさんへ 「勉強しようと思うけどスマホ離れず」は我が家の孫と同じです。
- ・全校参加の大会とはすばらしいですね。素直な表現に顔がほころびました。指を折りながら一生懸命「五・七・五・七・七」と取り組まれたのでしょうか。私は「おしょうがつおともだちからねんがじょう はじめてのことでうれしかったよ」と「やけどした『これでひやせ』と妹にじじは真顔でみかんを当てる」が特にいいと思いました。(出島の西村さん)

心のこもった感想・メッセージをいただき、ありがとうございました。

### シリーズ「教室におじゃまします」2月18日(火)1年算数科の巻

朝の会に席替えを行い、新しい座席での1限の授業でした。「たしざんとひきざん」は1年生の計算の学習のしめくりです。

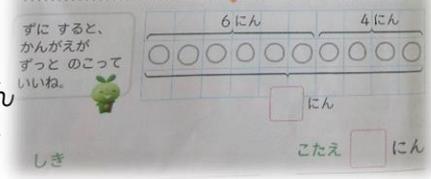
① そらさんは まえから6ばんめにいます。そらさんのうしろに4にいます。みんなでなんにいますか。

子供に見立てたブロックの図に、「前から6番目のそらさん」を見付け、印をつけます。そこから次は〇を使った図で「前から6人」「うしろに4人」を

表します。〇を使うとノートに書くのも簡単で、算数らしく考えることにつながります。子供たちは口々に「これはたしざん!」「もんだいに『みんなで』とあるし」と、図にも問題文のキーワードにもよく注目していました。そして (しき)  $6 + 4 = 10$  (こたえ) 10人 を導き出しました。

続く②は引き算の問題でした。問題文の書きぶりに少し戸惑いながらも、

①と同様、教科書に印を書き込んだりノートに〇の図を書いたりすることで正しく考えることができ、答えにたどりつきました。ハンドサインで関わり合い、皆で考えようとする学習の姿勢がとても立派な1年生です。坪野先生は教師用のデジタル教科書もところどころ駆使し、分かりやすい授業となるよう工夫していました。



<おまけのひとりごと> 来週26日(水)は午前も午後もお楽しみがいろいろです。まず午前中は「6年生を送る会」。5年生が中心となって在校生をまとめながら準備を進めています。これまでは感染症対策や負担軽減の流れから、「発表学年」と「プレゼント作り学年」とに分かれていましたが、今年は「全学年がステージ発表」に戻りました！子供も担任の先生方もはりきって準備・練習に取り組んでいるようです。午後は、初の試み「玉椿ミーティング」。ランチルームで、縦割りグループでの話し合いを通して今年度1年間の自分たちの成長を振り返り、来年度への希望をもつ集会です。どちらも保護者の皆様の参観自由です。お待ちしております。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ( )